

私たちの第一歩

～同和問題の解決を目指して～



総監督兼先生役:白石壱之介

助監督:三好巧真・森実真江

主人公:篠原大季

妹:石川凜々子

母:藤原紅

父:武内凜

生徒:川崎湊大

湯山侑輝

菅井拓志

高橋稔尚

篠原月姫

眞鍋貫太

あらすじ

ある日の3年A組の授業で差別問題について話し合いをしています。テーマは部落差別。「差別を残す側にやかなりたくない。」などと、様々な意見を言っていました。その授業の後の湊大と大季の会話で、「家族はどのような考えを持っているのか気になる。」という意見が出ました。その意見を聞いた大季は「うちの家族は差別やかせんけん大丈夫や。」とっていました。家での妹と母の会話で、母が「**自分は差別をしていないから関係ない。**」と差別を見て見ぬ振りをしていました。そこで大季は立ち上がります。果たして、その意見を聞いた大季と凜々子はどうやって母と父に思いを伝えるのでしょうか？

総監督兼先生役のコメント

今年度の人権劇では「自分の家族と話し合おう」のテーマのもと、同和問題の解決を目指して、これまで一生懸命練習に取り組んできました。僕は、総監督兼先生役として、全体を引っ張り指揮を取ってきました。これまで、人権講座の仲間と「**差別を絶対になくしてやる!!**」「**みんなにこの気持ちを届けたい!!**」という強い気持ちで一緒に頑張ってきたので、最後まで温かい目で見たいです。

主人公のコメント

劇を見終えたあと、家で同和問題について話し合いをしてもらえたらなと思っています。初めは読むのが難しくて試行錯誤の繰り返しでしたが、段々と形になってきて素晴らしい劇になりました。